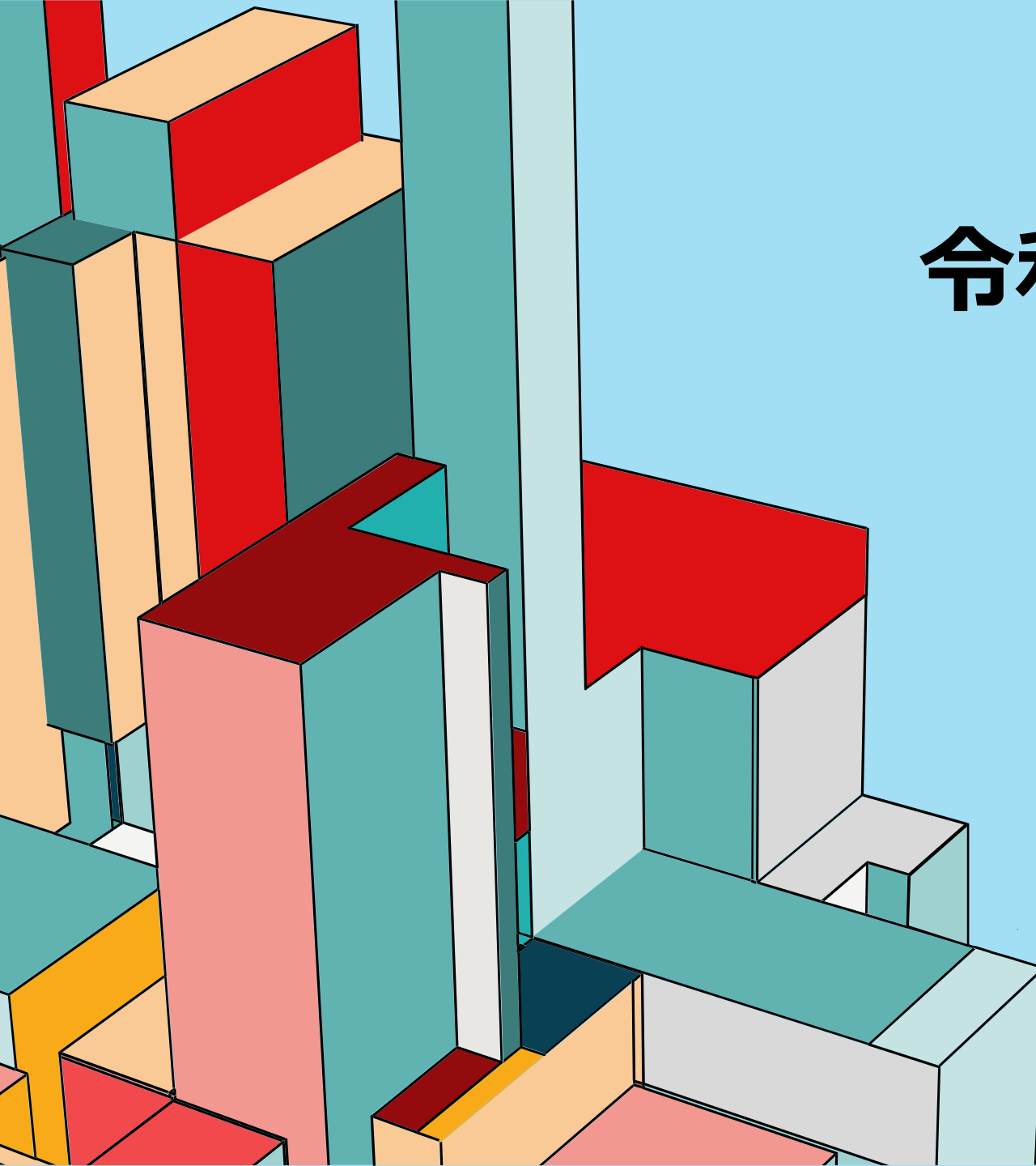




令和8年度 がん教育

授業実践報告

埼玉県立浦和西高等学校
教諭 瀬野 育美



浦和西高等学校 概要

昭和 9年	埼玉県立浦和第二高等女学校として開校
昭和25年	埼玉県立浦和西高等学校と校名を改め 男女共学となる
昭和40年	サッカー部全国優勝
令和 6年	創立90周年を迎えた

- 1クラス 約40名 1学年 9クラス編成
- 運動部・文化部共に活発に活動している文武両道の学校
- 「自主自立」を掲げ学校生活を送っている。
- 制服、チャイムがありません。

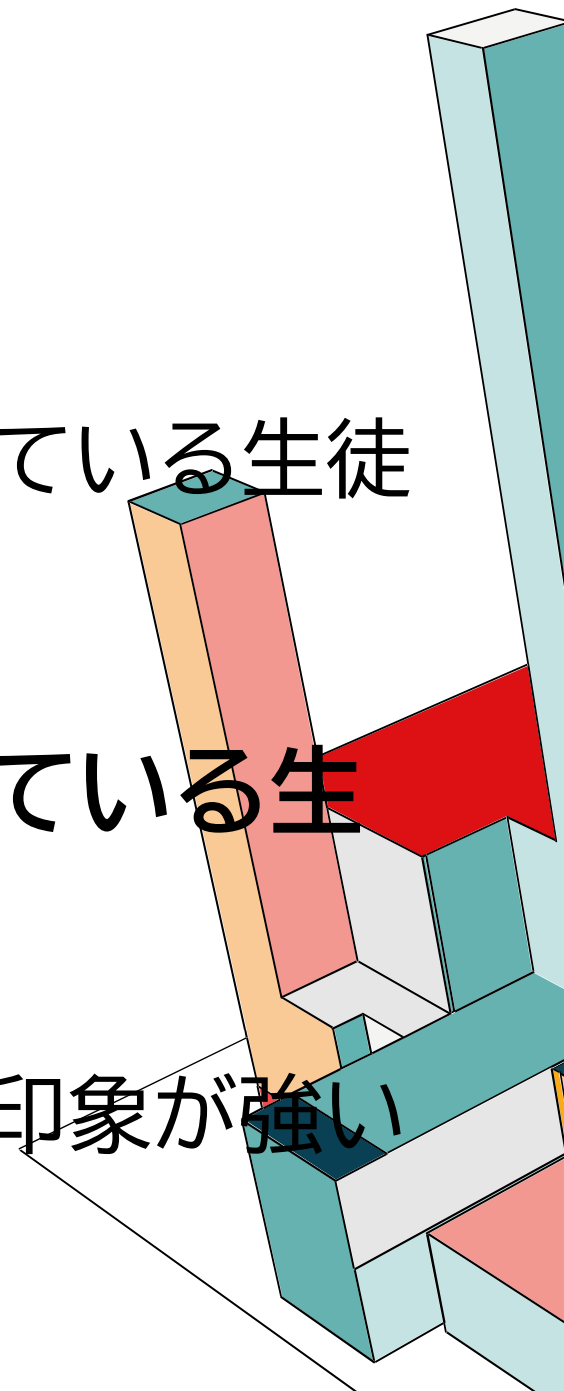
授業づくりにあたってのアンケート調査

○がんに関する知識について

生活習慣や喫煙が病気と関係していることを理解している生徒がほとんどである。

○検診や治療方法についてわからないと答えている生徒が多くいた。

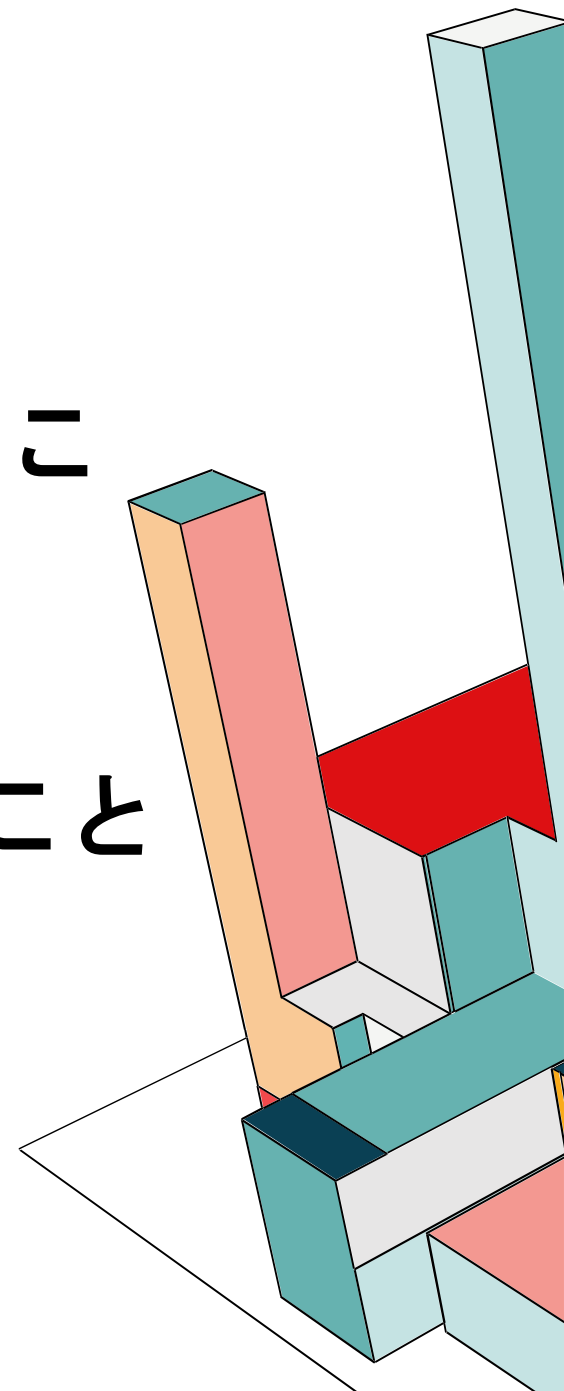
がん検診は「めんどくさい」「痛い」などネガティブな印象が強いことがわかった。



授業のねらい

がんの知識を正しく理解することや深めることを柱とし、がんを自分事として捉え、

「**検診**」をテーマにして授業を展開することにした。



授業で配慮したこと・悩んだこと

- ・家族をがんで亡くした生徒への配慮

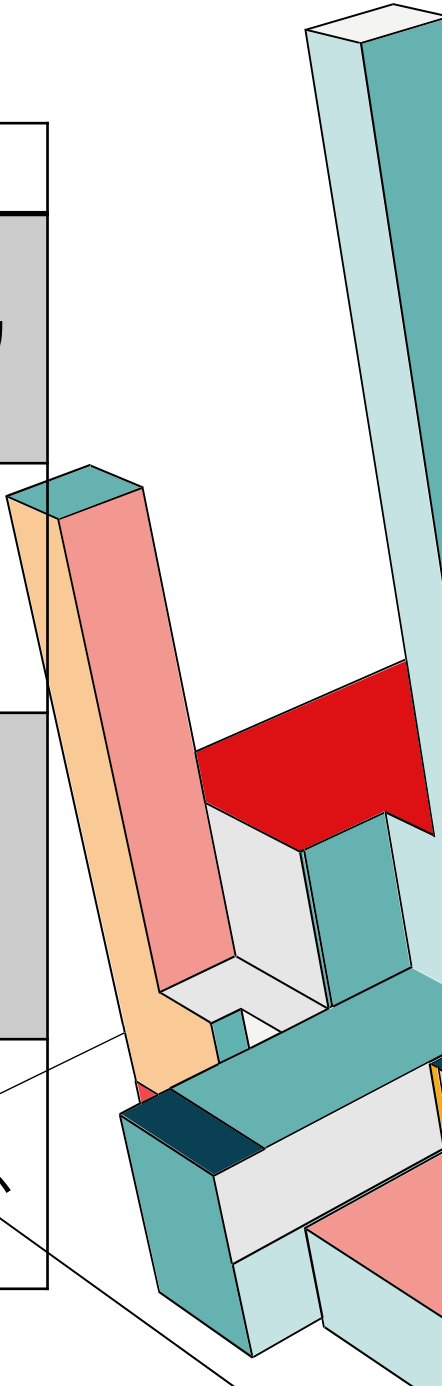
⇒学年全体への保護者宛通知の配布、個別に連絡

- ・生徒に応じた課題の設定や発展の程度

⇒最後まで悩んでいたが、研究協議や連絡会を通じて意見をもらい決めることができた。

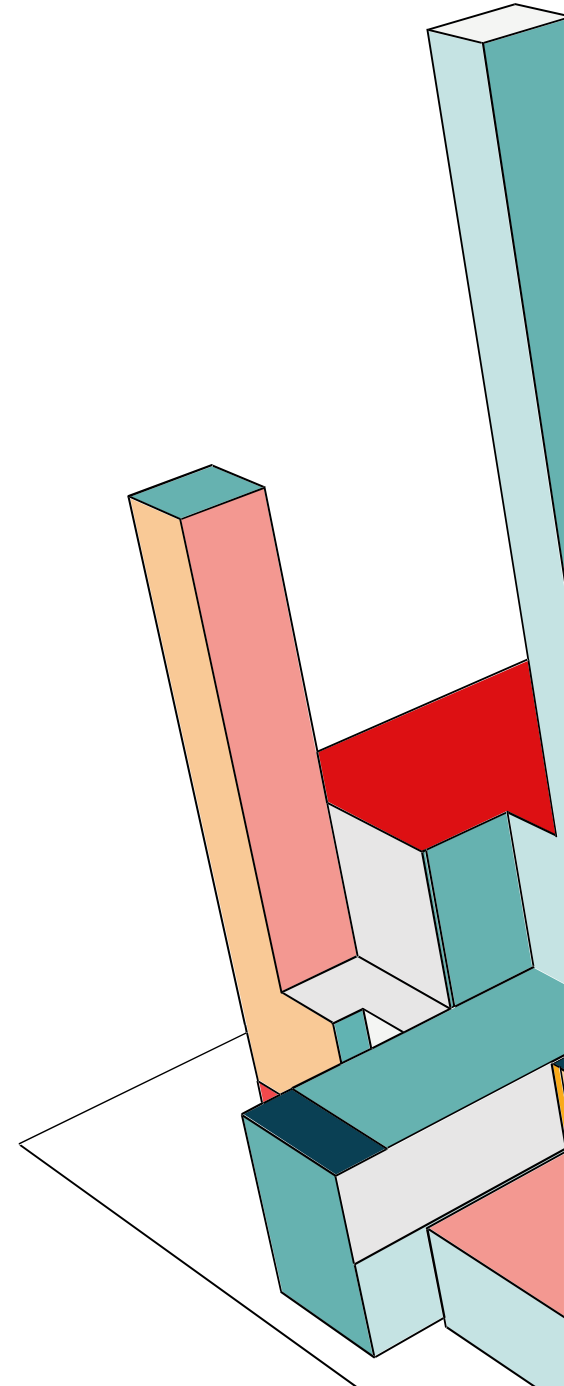
授業計画（全4時間）

	学習のねらい
1	【がんの種類と要因】 肺がん大腸がん胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルス感染などの原因もあること。
2	【がんの予防と回復】 がんのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など調和のとれた健康的な生活が続けることが必要であること。
3	【がん検診を考える】 がんのリスクを軽減し予防するには、調和のとれた健康的な生活が続けることが必要であることを理解し、日本人のがん検診の受診の壁になっている原因について考える。
4	【がん検診の重要性】 がんの予防と回復には、個人の取り組みとともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要である。



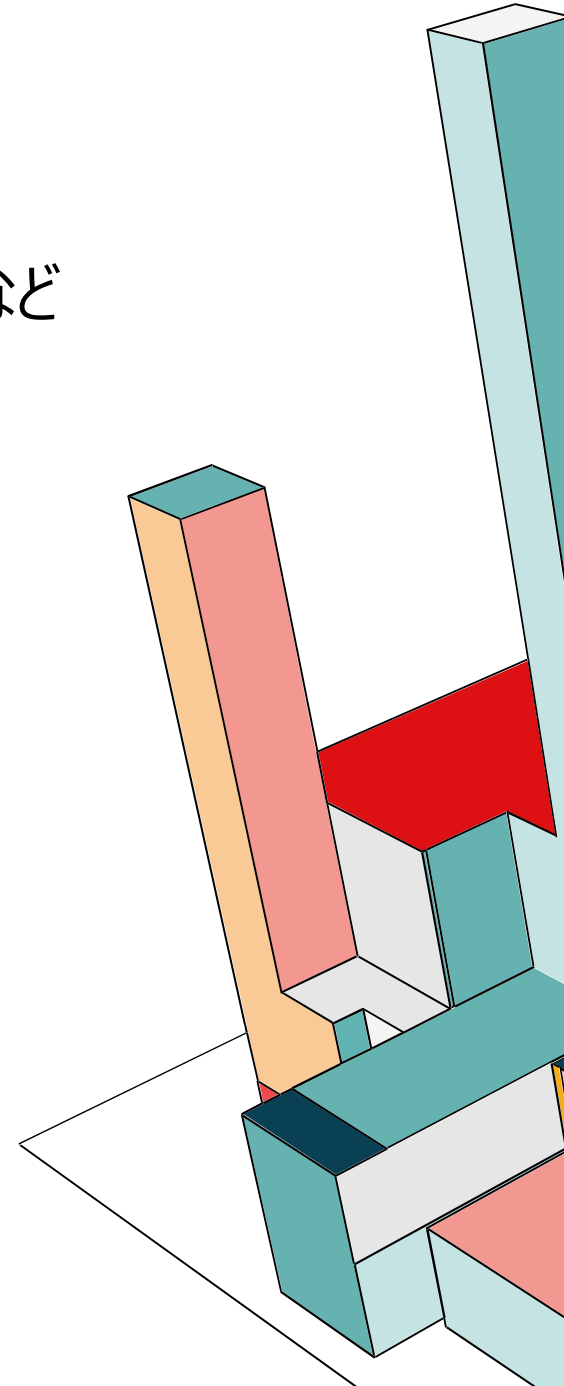
1 時間目 【がんの種類と要因】

- がんとはどのような病気であるのか理解させる。
- がんには、肺がん大腸がん胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルス感染などの原因もあることを理解させる。
- ステージと生存率の表から早期発見の重要性を理解させる。



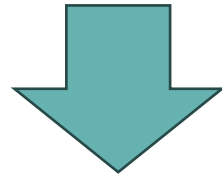
2時間目 【がんの予防と回復】

- がんのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など調和のとれた健康的な生活が続けることが必要であることを理解させる。
- がんの**治療方法**について知る。
- がんと診断された時から始まる**緩和ケア**【生徒から発表】について知る。
- **世界と日本のがん検診受診率の違い**から分かってくること。



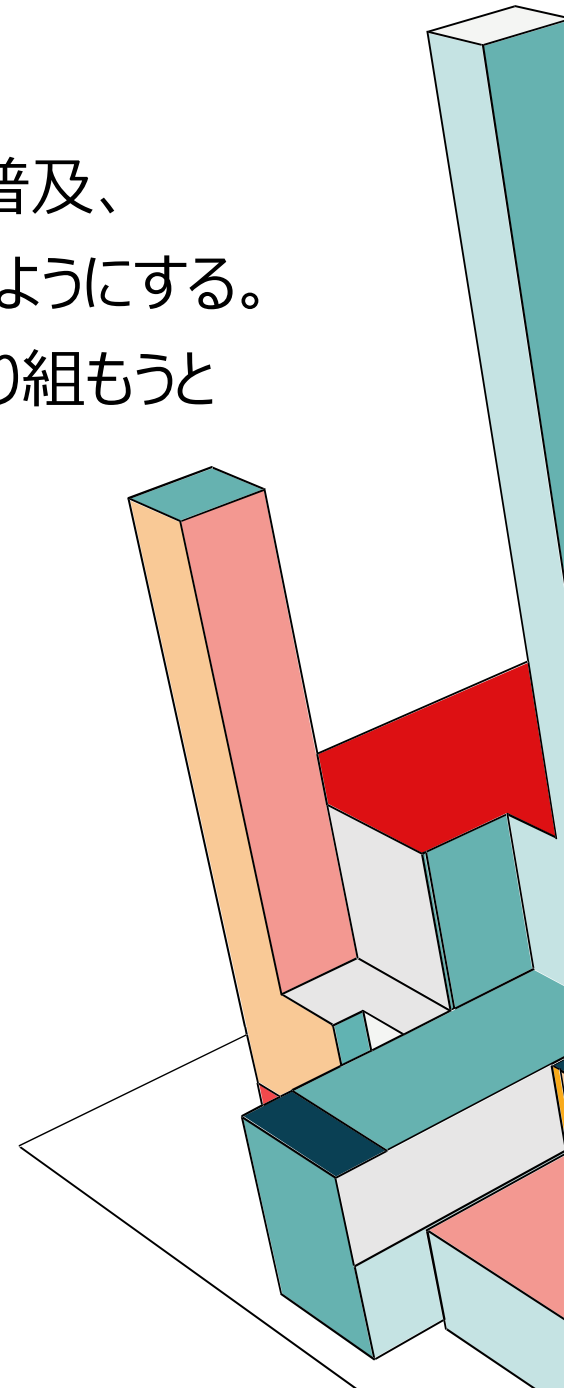
3時間目 【がん検診を考える】

- ・ がんの予防と回復には、個人の取り組みとともに健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて理解できるようにする。
- ・ がんの予防と回復について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしてる。



学習内容

がんのリスクを軽減し、予防するには調和のとれた健康的な生活が続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診など受診することが必要であることを理解し、日本人のがん検診の受診の壁になっている原因について考える。

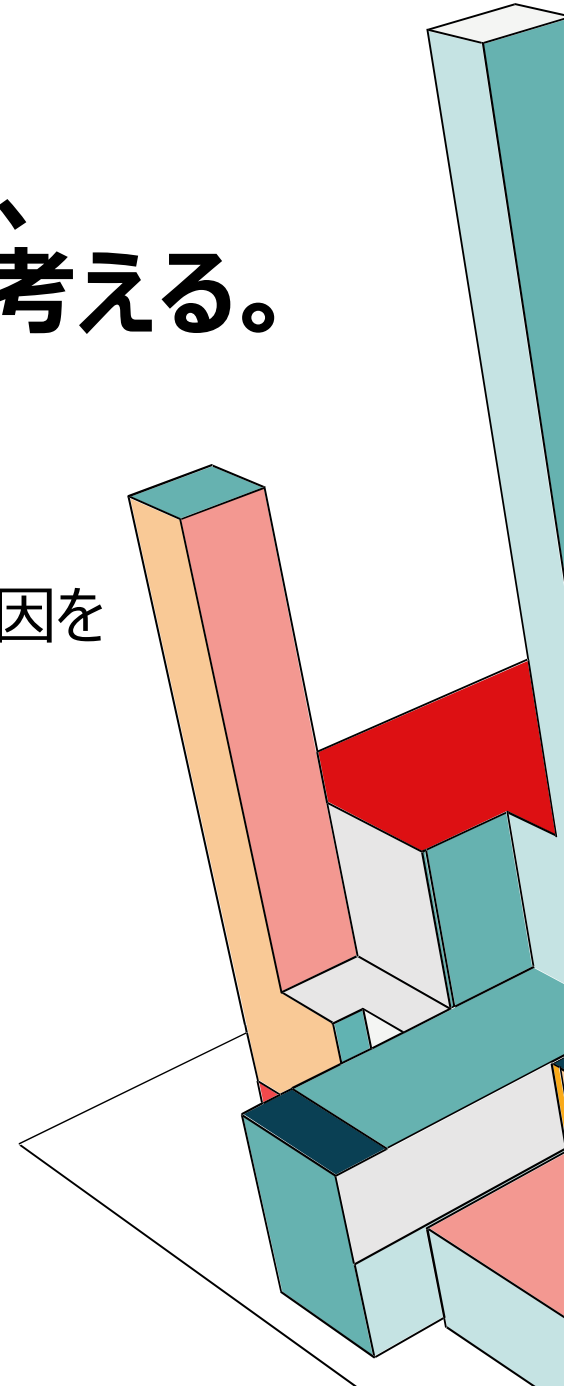


【テーマ】

日本のがん検診の受診率の低さの原因、 がん検診の受診率を上げるための解決方法を考える。

活動内容

- 日本人の**検診を受けない理由をグルーピング**し、それぞれのグループで原因を深堀りしていく。方法として**コンセプトマップ**を使用し原因を探る。
わからないことなどはタブレット端末を使用し、調べながら記入していく。
- コンセプトマップが完成したら、グループで解決策を考えていく。
- グループでがん検診の**受診率解決策**をまとめ発表する。

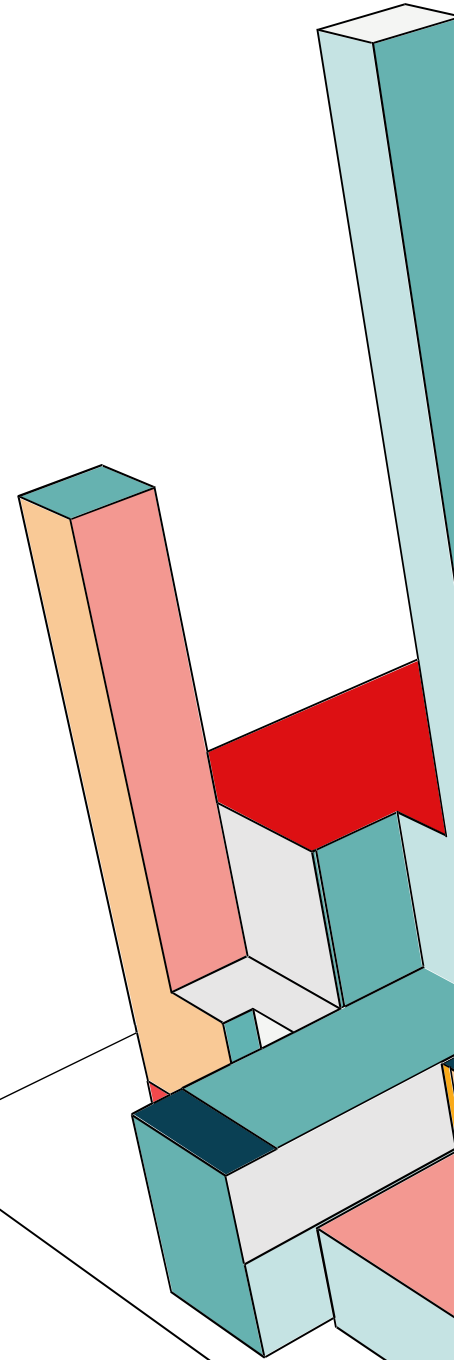


日本人が検診を受けない理由

- 心理的抵抗
- 時間や手間
- 症状がないから受けない
- 自己負担額や場所の問題
- 検診の知識不足
- 行政や職場の環境

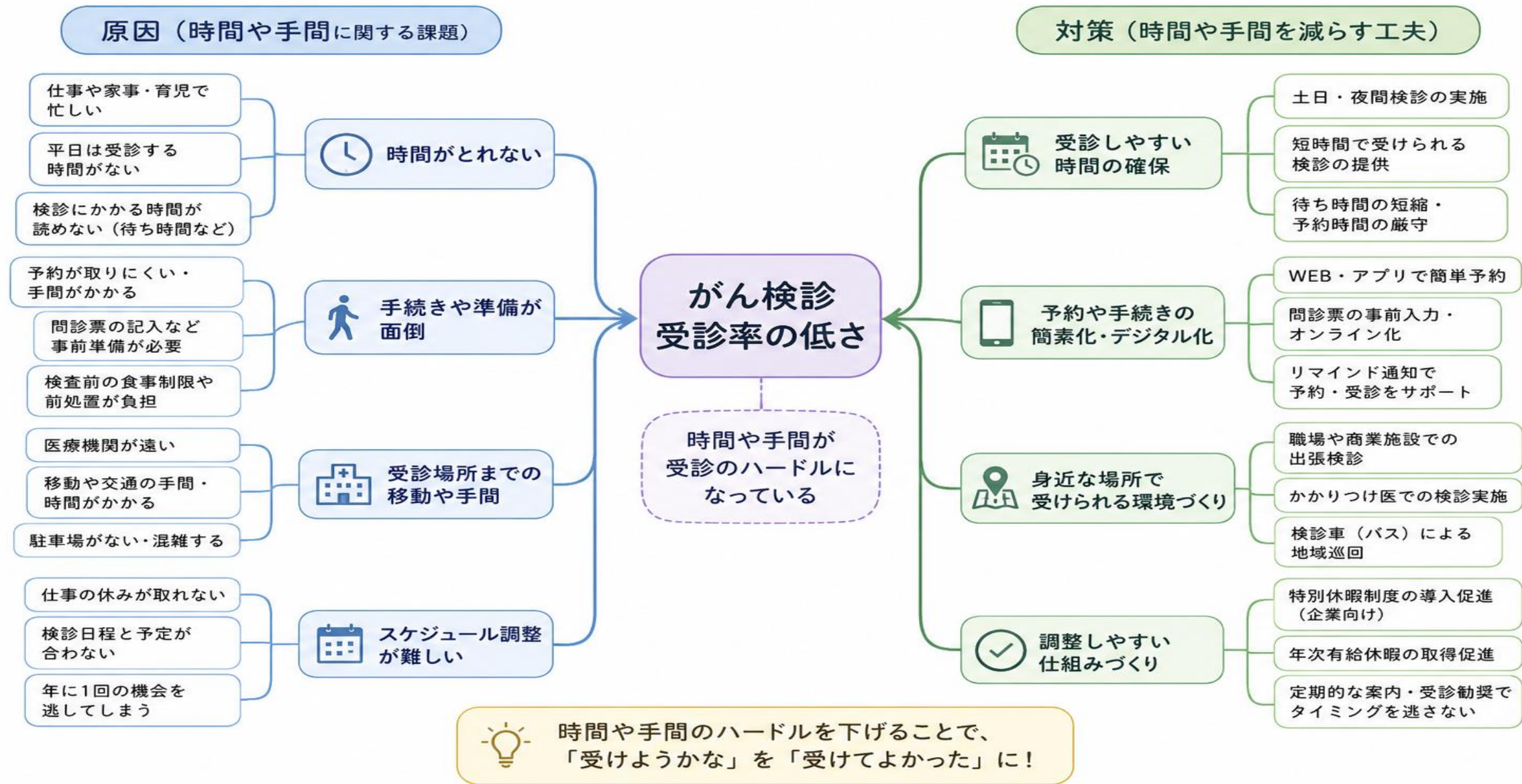
これらが解決できれば
受診率はあがる？
どうしたら解決できる？

62



コンセプトマップ【例】

がん検診受診率の低さの原因と対策 ～テーマ：時間や手間～

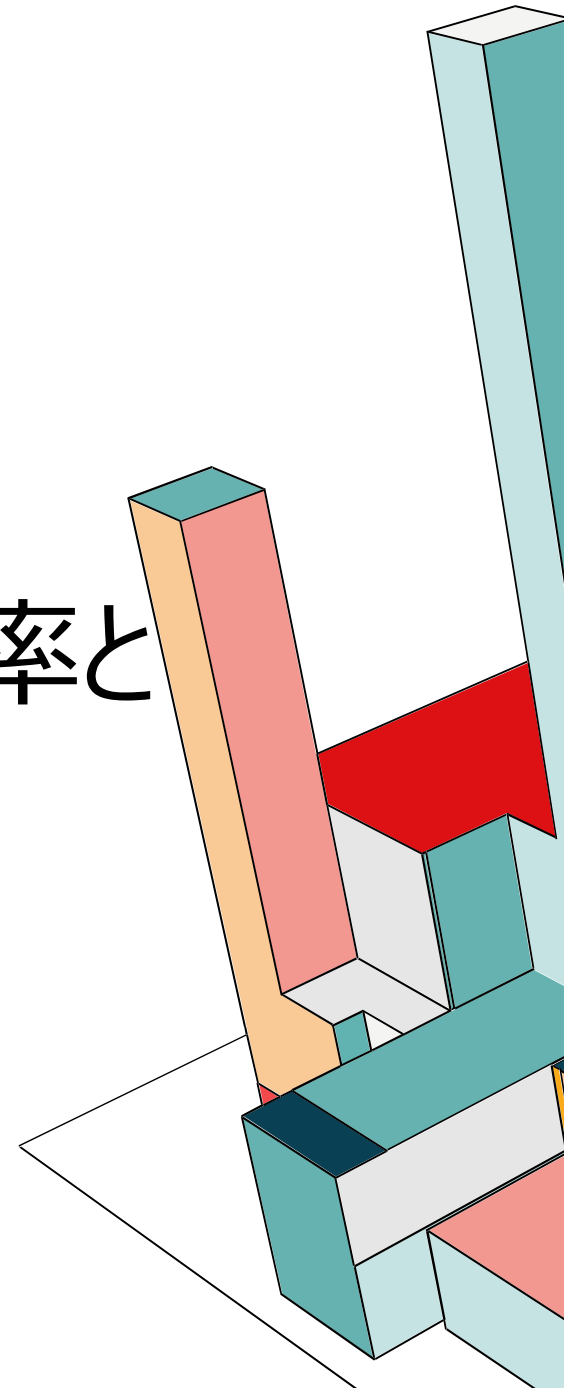


コンセプトマップを作製していく中での 生徒の気づき

- 日本の医療状況
- 社会的対策
- 医療保険制度
- 日本の労働状況
- 地域差
- 日本人のがんに対する意識の低さ

がん検診受診率と
関係している

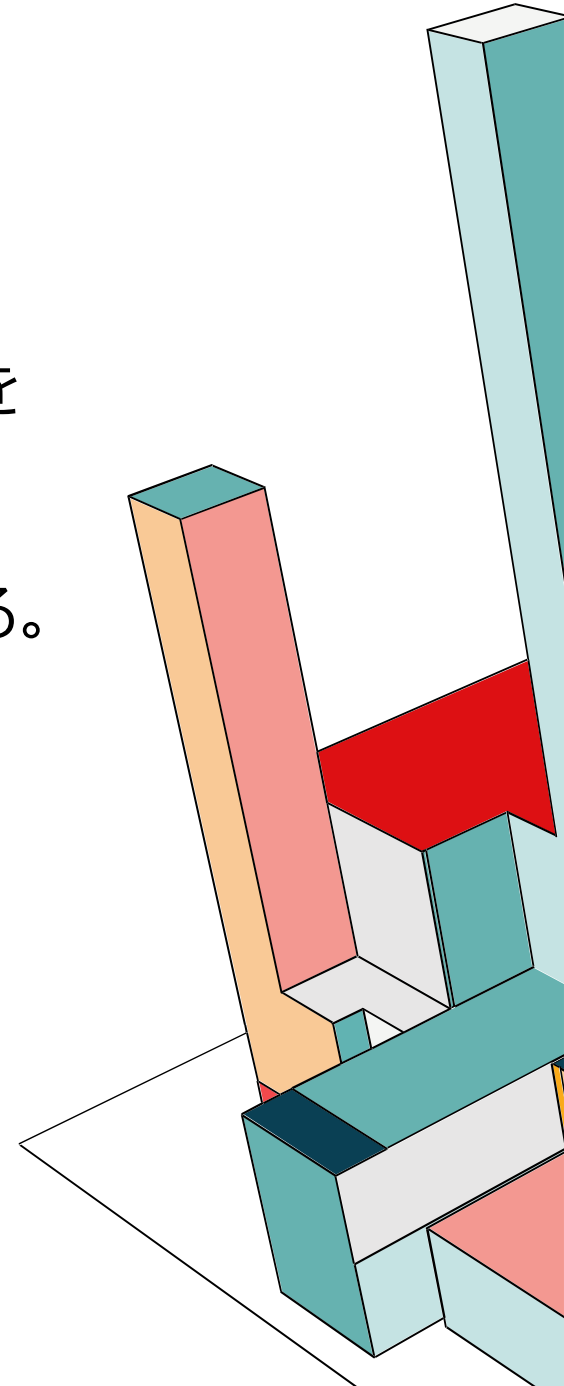
がん検診を受診することの重要性



4 時間目

【がん検診の重要性】

- 今まで学習した内容や、日本の検診受診率向上にむけてのリーフレットを作成しまとめる。
- がんの予防と回復には、個人の取り組みとともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解する。



生徒が作ったリーフレット

がん検診へいこう!!

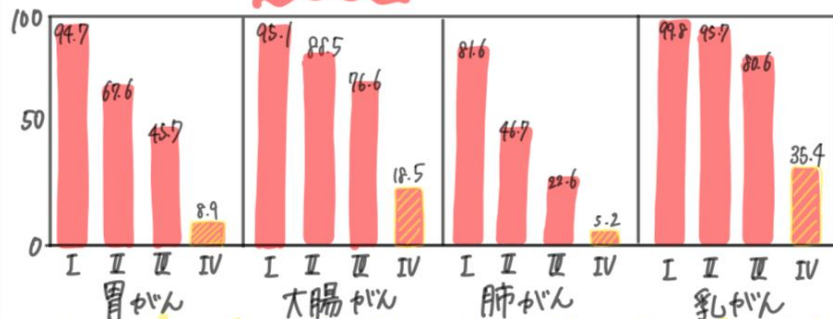
Q 何ができるの?
 「健康診断」とちがい、特定の病気(がん)に絞って調べる。

胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの検診が自己負担額無料~3000円ほどで受けられる。

Q どんなメリットがあるの?

① 早期発見・早期治療

がんの種類別各ステージでの5年後の生存率 (%)

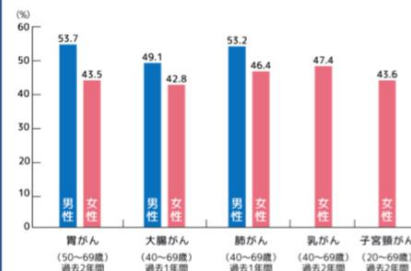


ステージ4になると生存率が急激に低下!!

② 治療負担の軽減

がんが早く見つかることで必要な治療が軽くなり、身体的・時間的・経済的な負担が軽くなる。

◎ 日本のがん検診受診率



受診率は

50%

ほどと少ない!!

他の国に比べ
受診率が

20% も低い!!



2人に1人が
がんになるの!!

がん検診を毎年定期的に受けていなかった理由を教えてください。

(n=373/がん検診を定期的に受診してなかった人)



がんの危険性や
がん検診の必要性を
正しく理解できていない!!

日本は社会保障制度があるから
大丈夫だと思っている

あなた

命と健康です!

参考文献 国立がん研究センター (2010-11)

生徒が作ったリーフレット

がん。もう間に合わないかも

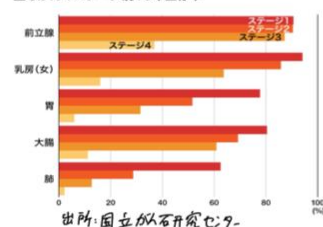
～行こうがん検診～

がん太



がんにはステージが5段階あるよ
僕たちは仲間を増やして、君の体を壊すんだ。
本当はそんなことしたくないから...僕たちを見つけて早く食い止めてくれな!!
さっきの言ったステージにステージIVがあるんだ。そこの僕たちが広域、ちゃんと生存率が20%ぐらいになんだ。
下のグラフを見て!

主ながんのステージ別10年生存率

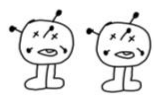


がんの種類にもよるけど、ステージ1,2でがんが見つかったら生存率が高いんだ。
でも、ステージ3,4になるとかなり生存率は落ちる。これを知らないと怖いよ。



それを踏まえて...
がん検診に行こう!

- こんなメリットがあるよ
- がんの早期発見により、がんの治癒可能性が高くなる。
- 治療が必要になっても、早期に見つかることで治療の負担が軽くなる。



どうやってがん検診を受けるの?

- ① 市区町村のがん検診
自治体の案内や、自治体のウェブサイト、広報誌で検診の情報を確認して予約する
- ② 職場のがん検診
職場によっては、健康診断とセットでがん検診をするところがある。
- ③ 集団検診
対象者に予約表が送れる。

ただし...

がん検診にはちょっとテキストがあるんだ。
がんが100%見つかるわけじゃない

必要のない治療を招く。

えっ??



あー、おこら



がん検診によって救える命。
それはあなたの命かもしれません。

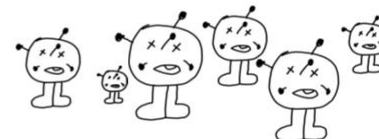
がん検診に行こう。

自分は
大丈夫



そんな思い込みは
今すぐやめよう。

ぼくたちもいよ!!



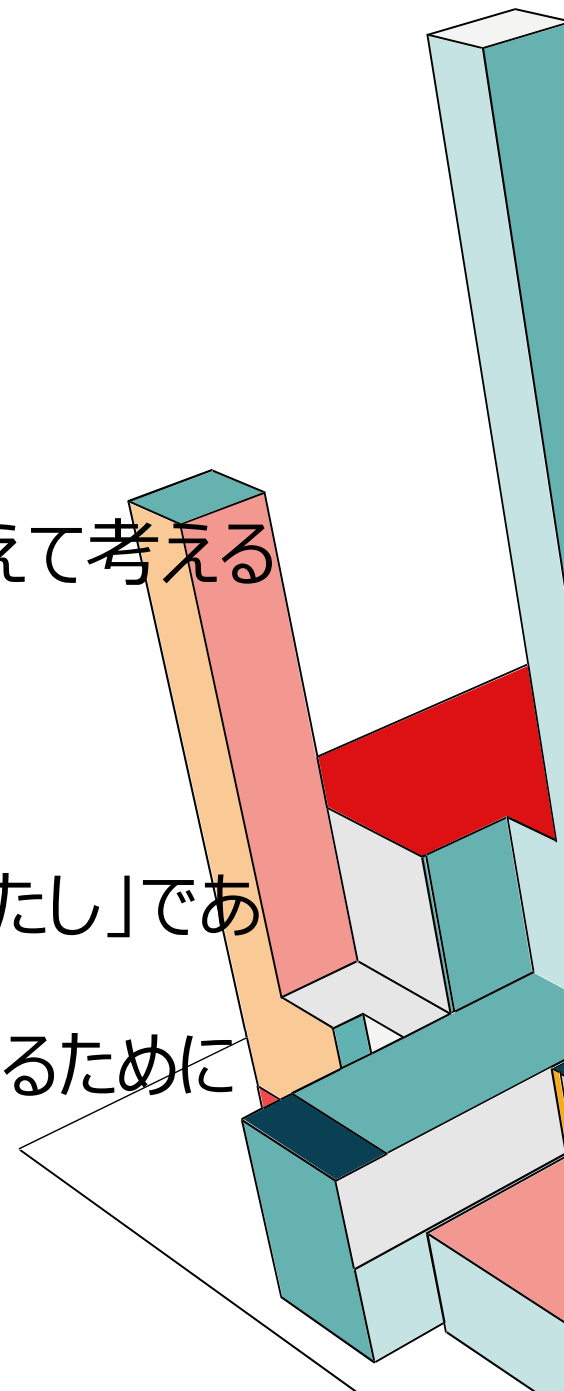
事後学習 1学年対象 講演会 12月18日

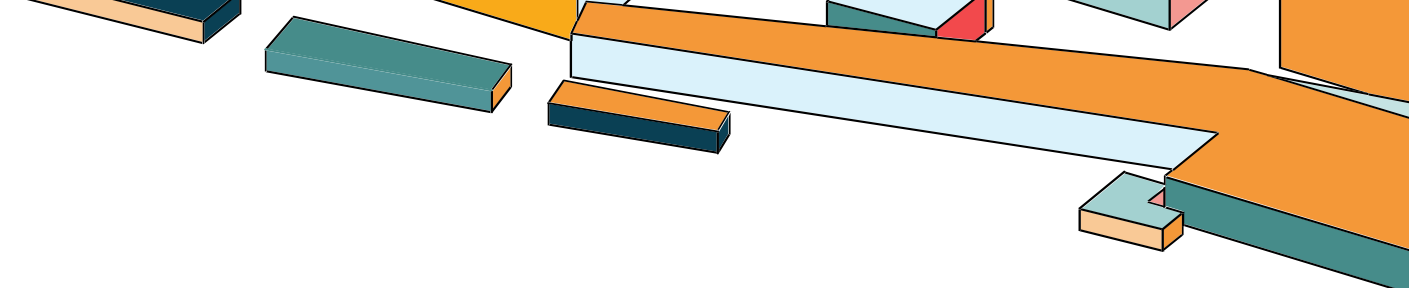
儀賀 理暁先生の講演会

「私が、私らしくいること」の大切さについて自身のことと置き換えて考える
ことができた。

生徒の感想

- ・生きていくためには、私が「わたし」であることが必要であり、「わたし」であるために、自分の価値観の物差しで自分を評価すること。
- ・今「生きていること」そのものが尊いことであり、自分が自分であるために大切なことを学んだ。





授業後生徒のアンケート結果

- ・がんになってしまうと自分が自分でいれなくなってしまうことが辛いことだとわかりました。
- ・もっとがんについて知ることが大切だと思った。
- ・緩和ケアのような患者の精神を支える治療が医療と一緒に行われることが大事だと実感した。
- ・がん治療は**一人ではない**ということを実感した。

授業者の感想

がん教育を実施することで、心理的な不安も与える**リスクはゼロではない**が、今から知っておくこと、心の準備をすることができる。

また、家族や自身ががんになった時に、寄り添うことができる。

がん教育を通じて、自分が自分でいられることの大切さ【命の尊さ】を知れた。授業を**実施してよかったと思えた**。

今年度も1学年の保健を担当しており、2時間でがんの授業内容を実施した。



ご清聴
ありがとうございました

